

堺東駅前広場における交流空間の創出に 向けた社会実験（ガシノワ）の結果報告

建築都市局 都心未来創造部 都心活性化担当

【実施内容】

- 居心地がよく歩きたくなるウォーカブルな空間形成に向けて、堺東駅前広場南側の公共空間（ジオルノ前）を活用し、民間事業者との連携のもと、交流空間を創出する社会実験を実施。

- ・こども縁日として、魚釣り体験やワークショップの開催
- ・ジオルノ専門店による物販、テイクアウト等の実施
- ・休憩スペースの設置



【実施日時】 令和4年8月5日（金）・6日（土） 午前10時00分～午後4時00分

【実施場所】 堺東駅前広場南側（ジオルノ前）

【効果検証】 来場者・出店者へのアンケートを実施し、社会実験の効果を検証する

当日の様子

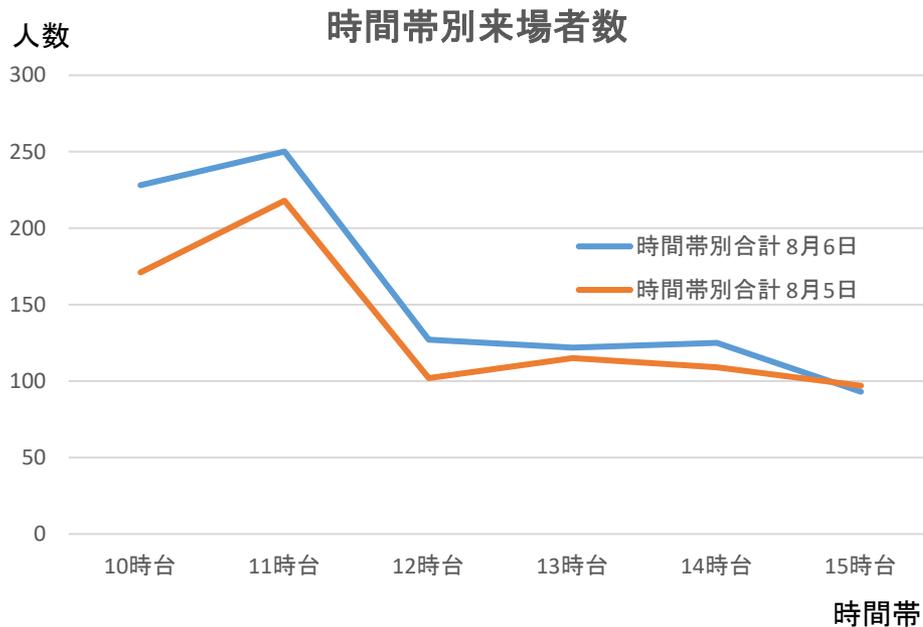


来場者数

■ 来場者数：1,757人（2日間合計）

	当日の天候	来場者数
8月5日（金）	曇り	812
8月6日（土）	晴れ時々曇り	945
合計	-	1,757

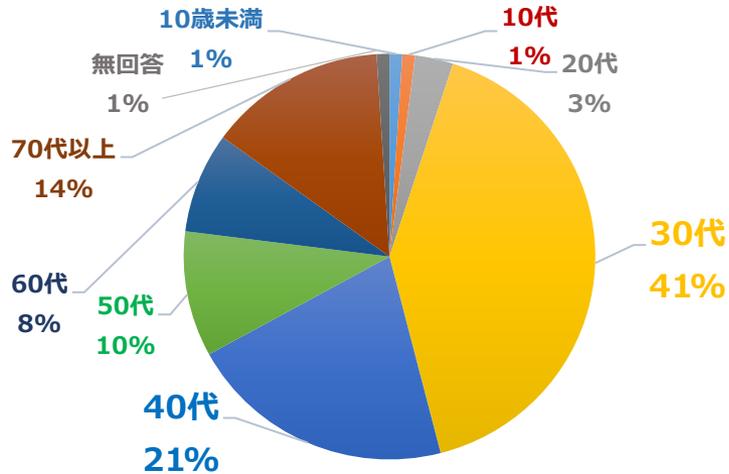
※15分毎に来場者をカウント



- 開催日両日で10時台、11時台と午前中の来場者が多い結果となった。
- 休日の来場者数が平日の来場者数をわずかに上回った。

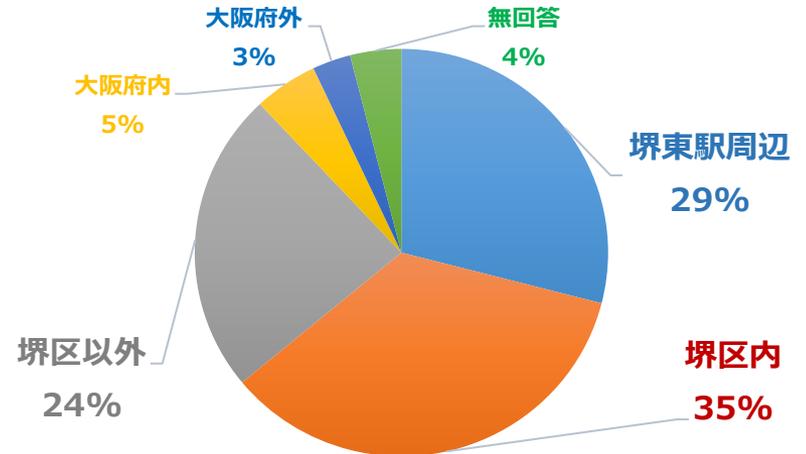
来場者のアンケート結果

来場者年代別



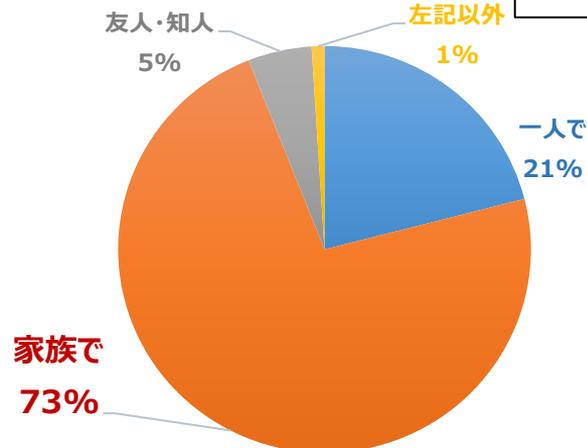
30、40代が約6割を占めており、子育て層の来場者が多かった

来場者居住地



堺東駅周辺、堺区内が約6割、堺区以外（堺市外を含む）からも3割程度来場があった

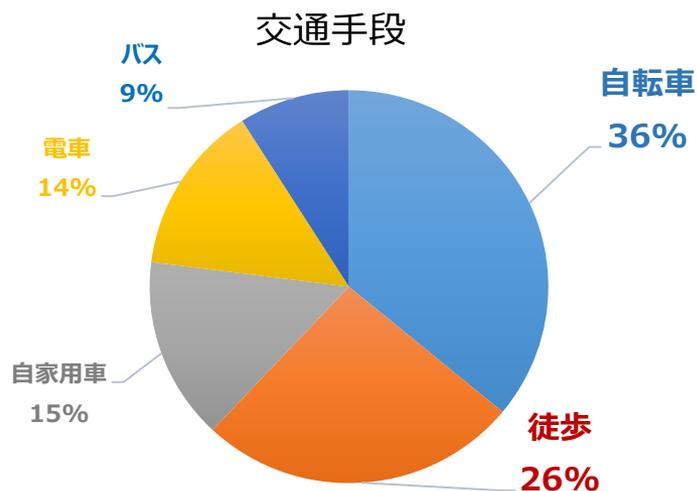
参加形態



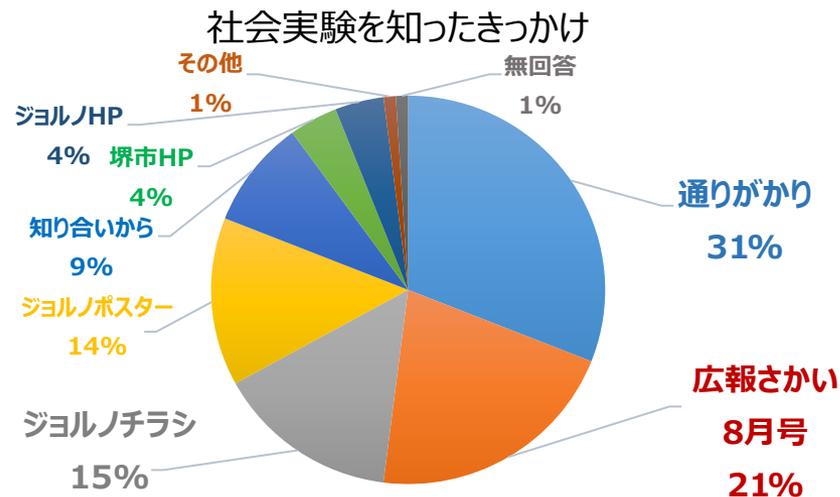
家族での来場が73%と最多であった

・N = 165

来場者のアンケート結果

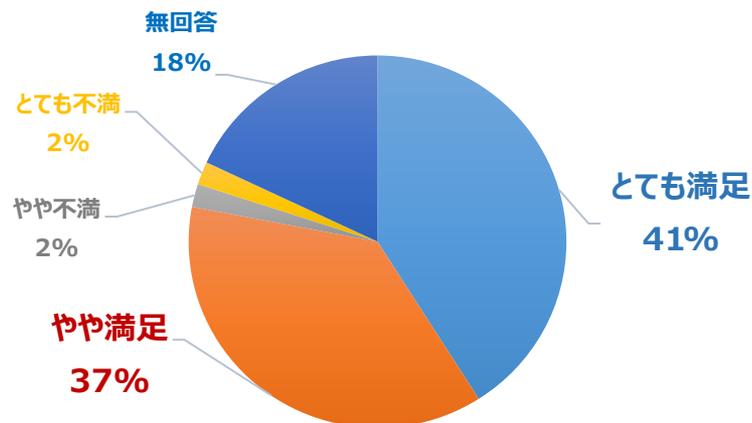


自転車、徒歩での来街が約6割となっており、来場者居住地と相関が見られた



通りがかりが約3割、広報さかい・チラシが約3割を占めた

社会実験全般の満足度

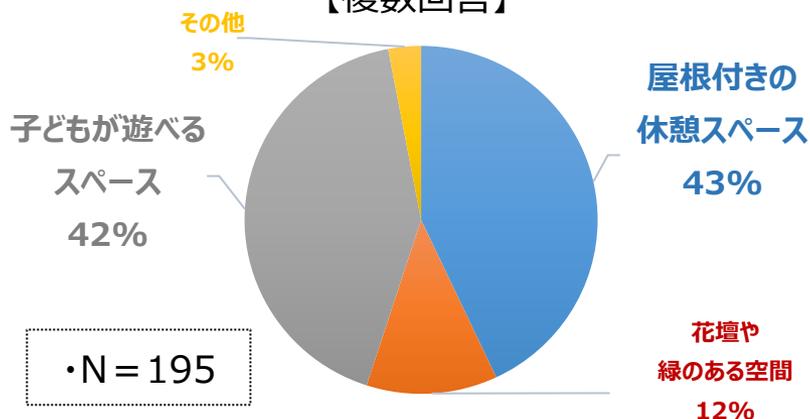


約8割の人が満足したと回答した

・N = 165

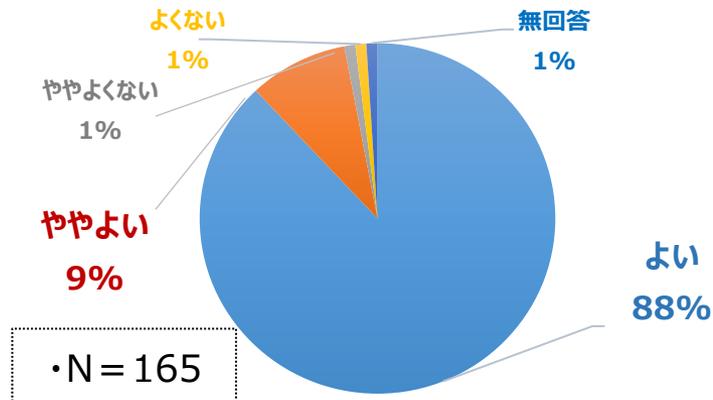
来場者のアンケート結果

当公共空間にあればいいと思うもの
【複数回答】



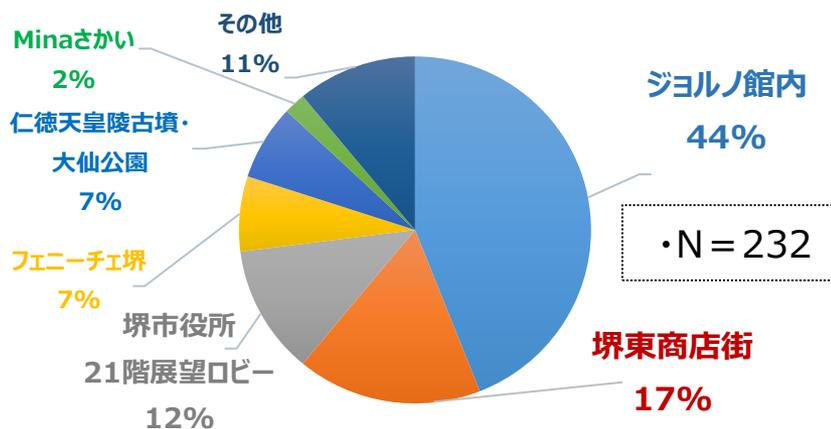
屋根付き休憩スペースと子どもが遊べる空間がそれぞれ約4割を占めた

このような空間がまちに増えるとよと思うか



97%の人が増えるとよいと回答した

この他行く場所【複数回答】



ジョルノ館内が多いが、堺東商店街、21階展望ロビー、大仙公園など回遊行動も見られた

■ 堺東周辺での交流空間創出の可能性について

- 2日間で1,757人の来場があり、来場者（アンケート調査）の満足度が約8割と高かったこと等から、今回の社会実験は一定の効果があったものと考えられる。

なお、社会実験が一定の効果を示した要因として、以下の点が想定される。

《民間事業者との連携》

- ・今回の社会実験は、民間事業者がそのノウハウを用いて企画・周知広報・運営を効果的に実施し、来場者の好評を得たことから、民間事業者との連携は効果的と考える。

《場所の利便性》

- ・来場者が社会実験を知ったきっかけで最も多いのが「通りがかり」であることから、一定人通りがあり、利便性の良い場所が好ましいと考える。

■ 居心地がよく歩きたくなるウォーカブルな空間形成に向けて

- 来場者（アンケート調査）から、このような空間の創出について97%が増えるとよいと回答したことから、ウォーカブルな空間創出に対するニーズはあるものと考えられることができる。
- 来場者（アンケート調査）からは、子どもが遊べる空間や、屋根付き休憩スペースを求める意見、ジヨルノ店舗からは、芝生を置いて子どもが遊んだりできるような休憩場所を用意してはどうか等の提案があったことから、今後、ウォーカブルな空間形成に向けて、このような来街者のニーズを捉え、取組を進める必要がある。